

第7回鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会議事録

- 1 日 時 令和8年(2026年)3月12日(火) 10:00~12:00
- 2 場 所 鎌倉市役所 講堂
- 3 出席者 名簿のとおり
- 4 傍聴者 なし
- 5 次第
 - (1) 庁内意見募集及び意見公募(パブリックコメント)の結果について
 - (2) 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画(素案)の修正内容について
 - (3) 今後の策定スケジュールについて

6 議事概要

事務局

第7回鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会を開催します。

本日は7名の委員の出席し、会が成立していることを報告します。以降は鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会条例施行規則第3条の規定により議長を委員長にお願いします。

委員長

会議の公開について、鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会条例施行規則第4条により、原則として会議は公開とする。ただし、委員長が公開することが適当でないと認めるときは、これを公開しないことができると定められています。本日の議題に公開に不適当な内容はなく、以降の議事については公開としたいと考えますがよいでしょうか。

それでは、以降の議事を公開としますので、傍聴希望者がいれば入室をお願いします。

事務局

傍聴希望者はいませんでした。

委員長

議事に入ります。鎌倉市にふさわしい博物館基本計画素案の庁内意見募集及び意見公募(パブリックコメント)について、事務局から説明をお願いします。

事務局

意見募集について説明。

委員長

ただいまの説明について質問・意見はありますか。

委員

意見公募（パブリックコメント）をしていたことについて、改めて委員にも周知をしていたのでしょうか。

事務局

第6回の委員会で期間の案内はしていましたが、具体的な日程について、改めて委員への個別周知は行っていませんでした。

委員

良い意見が多く来ていますが、5件しか来ていません。事前に知っていれば SNS などでも告知ができたのではないかと思います。

事務局

委員会で1月から実施することを案内しており、委員に個別の連絡はしていませんでした。またホームページや広報で周知しました。

副委員長

計画の理念の4本柱（の目標2）の「こどもたちの学びの場を創出する」について、こどもたちに限る必要はないという中央図書館からの意見があったかと思えます。目標2の施策内容は必ずしもこどもに限定されておらず、目標をこどもの学びの場に限定していることについて、若干の違和感があります。図書館からの指摘の通り、修正してもよかったのではないのでしょうか。

事務局

目標2の内容との整合性がとれていない部分があるため、検討したうえで修正を加えます。

委員

先ほどの委員の質問に関連して、やはり市民の意見の数がすごく少ないという印象を持ちました。この件に関する市民の関心の高さを示す指標になると思えます。鎌倉市で行っている他の意見公募（パブリックコメント）と比べて、5件という数が普通なのか、あるいは極端に少ないのか、教えてください。

事務局

意見公募（パブリックコメント）を何回か経験していますが、数としては案件によると思えます。経験上、この程度の件数の時もあったと記憶しています。我々は数よりも内容と考えています。今回の意見は、非常に多岐にわたり内容も濃く、有益であったと考えています。

委員

5件の意見は貴重であると思います。しかし意見公募（パブリックコメント）をやっていることを委員も把握していないぐらい、周知がされていなかったように感じています。広く周知していれば、さらに良い意見がでたのではないかと思います。

委員長

意見公募（パブリックコメント）の周知は、一般的な方法にのっとった形で、他の事例と変わらないという理解でよいですか。

事務局

一般的な方法で、他の事例と変わりなく行っています。

委員長

一般的な意見公募（パブリックコメント）の周知はわかりませんが、消極的に思われたいよう、周知の方法も、できるだけオープンな形を進めていただければと個人的には思います。

委員

今は人生が長くなり、地域やこどもを取り巻く環境にも変化が見られます。鎌倉市としてもこどもに対する働きかけに力を入れていることは理解していますし、国も同様の方向性だと思えます。しかし、景気の悪化など社会情勢の変化を受けて、博物館には「新しいことに興味を持つ人が学びを深められる場」としての役割を、より明確に盛り込む必要があると考えます。ここで得た学びが、鎌倉の取組みに生かされ、次の世代へと継承されることを明言できるような内容にアップデートしてはどうかと考えます。

また、最近の国際情勢や戦争による文化財被害の報道等を受け、文化を次世代に残す重要性を痛感しています。こどもだけでなく、学び直しを望む大人や、学んだことを仕事のステップアップに生かしたい人にとっても役立つようなことを、計画に盛り込むのが良いと思います。

事務局

委員のおっしゃる通り、計画にある千年先に伝えるという理想は重要だと考えています。

一方で、今回の計画は規模が大きく、内容も多岐にわたるため、作る側としては現行の体制でどこまで実施可能か、何を優先して取り組むべきかを慎重に見極める必要があります。策定作業にあたっては、現在の体制で実現できること、追加で整備すべき体制や資源を整理しながら進めているところです。

今後も、方針や運用の在り方を随時アップデートし、実行可能な形で計画を進めます。基本的に優先すべき事項はこの案に示されているとおりでありますが、過去の素案も参考にしつつ、現状で実施可能な内容にまとめ直していきます。

委員長

意見公募（パブリックコメント）等について、他になければ次に移ります。

それでは議事の2に入りたいと思います。鎌倉市にふさわしい博物館表計画素案の修正について、事務局から説明をお願いします。

事務局

素案の修正箇所の説明

委員長

ただいまの説明につきまして、質問、意見はありますか。

委員

目標2のこどもたちの学びの場に関連して、初めの頃の会議でも意見をしましたが、修学旅行のこどもたちの学びについて気になっているところです。今後は観光客や修学旅行のこどももこの事業に参加することになると思います。目標に「郷土への誇りと愛着」と入れると、鎌倉市民のこどものためにというのは良いのかもしれませんが、修学旅行で来たようなこどもたちにも何か学んでもらえるような目標にすると良いのではないかと思います。

事務局

ご指摘の部分も確かに重要だと思えますが、この目標に関しては地域のこどもたちに対しての目標という形で考えています。ご指摘の市外から鎌倉に来る学生については、目標4の「魅力を発信して活用する」と関連すると思えますので、検討できればと思います。

副委員長

5頁、目標3の「新たに歴史遺産を見出し、その価値を図る」と書いてありますが、「はかる」の字はこの字で良いのでしょうか。また、10頁、基本計画の位置づけで、教育振興基本計画は教育大綱や歴史的風致維持向上計画に並ぶ位置づけになるのではないのでしょうか。また前回の委員会で、43頁、科学研究費助成金ではなく助成事業ではないかという指摘がありましたが、そのままになっています。最後に、3頁からの博物館の役割と課題のところ4頁の下から4行目、「地域の課題に寄り添いながら、こうした貴重な自然環境を守り、受け渡すための道先案内であります。」とありますが、「寄り添う」という表現ではなく、保存を図っていくという強い意志がみえる言葉の方が良いのではないかと思います。

事務局

用語や言葉の部分、表現が消極的なところは検討して、修正をしていければと考えています。なお、10頁の図については市の全体計画を所管する企画課の確認を経たものであるため修正できませんが、本文については、改めて確認を行い必要に応じて修正します。

委員

鎌倉が他の日本の都市と違うのは、やはり鎌倉幕府があった、鎌倉時代があったことにあるので、もう少し鎌倉幕府について、一時期は日本の首都だったなど、具体的な記述を入れて、特色の部分載せていくと良いと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

鎌倉の特色を伝えていくことは非常に大事だと思っています。一方で、この計画は博物館が主眼ですので、歴史的な記述については簡潔になっています。

委員長

最近の研究状況では、鎌倉をこの時代の突出した代表的な都市とすることについて、京都も圧倒的な存在感を示している時代ですので、相対的には鎌倉の比重がむしろ下がりつつあるのが現状です。むしろ計画の「初の本格的な武家政権が開かれた土地です」というのは、かなり攻めた表現にはなっています。「本格的な武家政権の鎌倉幕府」にして「鎌倉幕府」を強調するのが無難だと思います。かつては首都が京都から鎌倉に移って、鎌倉が日本を代表する都市という理解でしたが、最近では京都が鎌倉へ、朝廷から幕府へ全部移ったという考え方はしなくなっていますので、現在の表現が落としどころかと思っています。

委員

目標3の新たに歴史遺産を見出すという項目がありますが、後継者がいなくなり、廃棄されてしまったら再現ができないような価値のあるものを持っている人が鎌倉には多くいると思います。そのコレクションなどの受け入れの窓口となることを、盛り込んでもらえたらと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

デジタルミュージアムでは、失われる恐れのある資料等をデジタル化により保存することを想定しています。この計画は、フィールドミュージアムとデジタルミュージアムが円滑にまわるまでの計画になります。デジタルミュージアムについては、まずは館藏品から順次デジタルアーカイブ化していく計画です。基本的な方針を記載しているので、受け入れなどの具体的な施策については今後になります。今後円滑に回ったところで、課題が見つければ、さらに計画への落とし込みを検討したいと考えています。

委員長

すでに中央図書館の近代史資料室では、個人の写真などの受け入れを実際に進めているところだと思います。そうした事例をここに付け加えるというのも良いと思います。

事務局

歴史遺産として見だしてそれをどうやって受け継いでいくのか、資料の受け入れなどについて

ては、具体的な計画は立てていませんが、デジタルミュージアムと連携して共有できたらと考えています。

副委員長

フィールドミュージアムについて、ワーキンググループを立上げ、その中にフィールドワークのグループが複数点在していくようなイメージで捉えて良いのでしょうか。さらにその事務局が博物館機能整備担当および鎌倉歴史文化交流館ということでしょうか。この2担当が事務局を中心にワーキンググループを作って、広報などをして、将来的にいくつかのフィールドワークグループが実際に地域に入ってやっていくというイメージで良いのでしょうか。

事務局

基本的にはそのように考えています。ワーキンググループは特定の地域だけではなく、調査の全体を見渡せるような方々で構成していきます。フィールドワークグループは、さらに地域の方々にも入ってもらいます。調査地区ごとにフィールドワークグループができるイメージですが、1つのグループが複数地区を行うかどうかについては、運用して検討したいと考えています。

またデジタル化についてもワーキンググループで検討しますが、最終的には博物館機能整備担当がまとめていくことになると思います。さらにフィールドミュージアムで得られた基礎的なデータについては、フィールドワークグループの中である程度までは協力していただく部分もあるかと思っています。

副委員長

ワーキンググループやフィールドワークグループは、基本的にはボランティアを想定しているのでしょうか。

事務局

ワーキンググループは専門の方々をお願いするので、来年度の予算の中で謝礼等の要求をしています。一方、フィールドワークはボランティアを基本とする考えです。

委員長

図を見る限り、ワーキンググループとフィールドワークグループの関係が良くわからず、二つの連関が見えない図になっているので、両者をつなげると良いと思います。また、29頁の博物館機能整備担当の文字が重なっているところは修正してください。

他にありますか。それでは説明について、この場では了承したということによろしいでしょうか。

議事の3に移ります。今後の作成スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

スケジュールの説明

委員長

ありがとうございます。この基本計画そのものの検討の機会は、今後は委員会という形ではなく、メールでのやり取りで最終的に取りまとめるという理解でよろしいですか。

事務局

はい。

委員長

では、最後の段階ではないので、それぞれ資料を詳細に検討して、意見をしていく形で最終的な策定まで進んでいくことになります。

委員

パブリックコメントでも意見が出ていましたが、鎌倉市の持っている文化遺産は、もっと色々なものがあるのではないかという話も出ていました。将来的に目指すというところについて、何年後かにこの計画の枠だけでよいのかということを見直していくような機会が持てたら良いと思っています。文学館や美術館、映画や自然史などの方にも入っていただく機会も出てきた方が良いと思っています。このままで終わりではなく、何年後の目標として見直行くということが言えないでしょうか。

委員長

この策定が終わった後、時間をおいて見直しをして、何か意見交換できるような場を設けないのか、という意見ですが、いかがでしょうか。

事務局

この計画は両館が核となりますが、市内の他の博物館もフィールドミュージアムの構成要素に入っています。

委員

一緒に進めていくという考えで安心して良いということで理解しました。

委員

この計画をみると、来月からワーキンググループの下話というのが始まりますが、現状で何人規模とか具体的な案があれば、お聞かせいただきたい。

事務局

4月以降に事務局の体制が決まり次第、具体的な準備に入り、検討していきたいと思っています。資料の分野ごとに入っていただけるような体制というのはとっていきたいと思っていますところでは。

委員

ワーキンググループに参加したい人はどのようにすれば良いですか。

事務局

それについてもこれから具体的に検討していきます。

副委員長

ワーキンググループの立ち上げ準備が今年度末から来年度末までありますが、立ち上げ準備だけで終わって、いつから調査がはじまるのかよくわかりません。目標があれば、お示してください。

事務局

運用が令和8度に始まりますので、どこまで進めるかはわかりませんが、ワーキンググループを立上げて、エリアを決めていくところまでは行いたいと考えています。

委員長

他にスケジュールに関していかがですか。ただいまの説明につきましては了承するというところでよろしいですか。事務局から何かありますか。

事務局

次回の第8回の委員会は6月から7月の予定で開催できればと考えています。5月頃に委員の皆様にご都合をお伺いします。その前に今回の委員会をふまえて修正した素案の内容を委員の皆様にお送りします。適宜ご意見と修正事項等を事務局にお送りください。事務局からは以上です。

委員長

以上で本日の議事は終了しました。皆様ご協力ありがとうございました。

(以上)